

自衛隊制度説明会に教諭や家族が参加



平原所長の説明に聞き入る参加者



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、6月8日（土）、学校法人大谷学園秀英高等学校（横浜市）において教諭と家族等に対し自衛隊制度説明会を実施した。これは同校からの要望に基づき、毎年募集解禁前の時期に自衛隊の制度等について説明を行っている。同校の就職担当を含めた若手教諭や自衛隊の受験を検討している学生の保護者等の参加を得て実施した。地方協力本部の紹介に始まり、自衛官の仕事、自衛官になるための様々なコースの紹介等、説明を進めていくと、参加者は真剣な眼差しで所長の説明に聞き入っていた。参加した教諭からは「部内一般曹候補生試験の合格率はどのくらいですか」「特殊作戦群について教えてください」などの質問があり、自衛隊について非常に興味を持っているようだった。また保護者からは「孫にぜひ自衛隊に入ってもらいたいと思って、今回の説明会に参加しました」などと自衛隊に関心を持っている状況を窺うことができた。上大岡募集案内所は、「今後も学校との連携、特に担当教諭との連絡を密にとり、説明会やイベント案内等を積極的に実施し、受験予定者や保護者の不安を少しでも払拭し、募集成果に繋いでいきたい」としている。

地元高校で募集相談員と共に自衛隊をアピール



まんぎょう 万行教諭（右）と談笑する石井相談員（左）



まんぎょう 万行教諭（右）に説明する石川広報官（左）

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一等陸尉）は、6月19日（水）神奈川県立横浜桜陽高等学校（横浜市）を訪問した。これは例年7月1日の募集解禁前に学校の就職担当教諭等へ当該年度の募集要項等を説明しているもので、当日は、自衛官募集相談員会の石井徹募集相談員にも御多忙中、同行していただき、広報官とともに自衛隊をアピールしたものである。石井相談員は日頃から自衛隊志願者に関する情報の提供や地方協力本部の行う募集のための広報等に対する支援をいただいております。地元の学校に対しても自治会員として積極的に活動されている。学校側は総括教諭の万行先生まんぎょうに対応していただき令和元年度の募集要項、次に様々な任用コースの説明及び自衛隊のイベント案内等を行った。万行先生からは前年度に入隊した生徒の活躍状況や入隊するための資格等について質問を受けるなど自衛隊に対して関心があることを窺えた。石井相談員も地元の方ということもあり、地域行事や昔話などで盛り上がり、和気あいあいの内にあっという間に時間が過ぎてしまった。終わりに学校からも対象者情報の提供や説明会実施についても協力いただけることを確認でき、実のある学校訪問となった。上大岡募集案内所は、「今後も募集相談員と良好な関係を継続するとともに、学校との連携を更に深め、年度募集目標達成に寄与したい」としている。